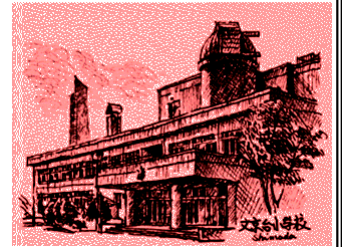


# 記念塔

江別市立文京台小学校  
学校だより No.13  
令和7年1月24日(金)  
TEL 386-7700  
FAX 386-7710



【大麻中学校区 めざす子ども像】  
ともに支え合い 夢や可能性に向かって  
たくましく生きる子ども

【文京台小学校 重点目標】  
「なりたい自分」を描き、他と共に高め合う文京台の子  
～子ども一人一人を主語とする文京台の教職員～

何も咲かない寒い日は 下へ下へと根を伸ばせ。 やがて大きな花が咲く。

校長 田中 美由紀

今年の冬は今のところ雪が少なく、冬休みに予定されていたPTAの冬のイベントも中止せざるを得ない状況でした。楽しみにしていた子どもたちに申し訳ない気持ちでいっぱいです。本当に申し訳ありませんでした。今は雪が少なく感じますが、降雪量は毎年そう多くは変わらないとも言われていますので、今後、帳尻合わせの大雪が来ないか心配です。さて、冬休みが明け、1月17日に子どもたちが元気な挨拶を交わしながら登校してきました。学校に子どもたちの声があふれ、今までひっそりとしていた学校も活気を取り戻しました。改めて本年もよろしくお願ひいたします。

17日の冬休み明け集会(放送)では、残りの登校日数について触れ、「春休みまでは短いですが、進級・進学するまでに学ぶ事がたくさんあります。今日は『目標』『なりたい自分』について考え、これからの一日一日を大切に過ごし、最後の日にはなりたい自分になれるように頑張りましょう。」と、子どもたちに話しました。文京台小学校の子どもたちは、どんな目標やなりたい自分を描いたのでしょうか。是非、ご家庭でもその目標について話題にさせていただき、どんな目標であっても子どもたちの意欲を大切に、継続して努力できるよう励まし、応援してほしいと思います。

シドニーオリンピック女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんは「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。」(元三洋電機副社長、後藤清一氏の言葉)を座右の銘としていたそうです。高橋選手は恩師からかけられたこの言葉を支えとして練習に取り組んできたそうです。意味としては、『陽の光を浴び、水を吸収し、しっかり根を張り成長してこそ、大きな美しい花が咲く。結果が出ないと焦ったり、諦めたりしがちだが、苦しいときに踏ん張るからこそ根が伸びる。根を伸ばすことをやめなければ、やがて大きな花が咲く。』というものだそうです。

みんながみんな順風満帆な人生を歩むとは限りません。立ち止まってしまったときや、うまくいかないときにどれだけ粘り強く頑張れるかで、その後が変わってきます。うまくいかないときにこそ地道な努力を継続し、しっかりと根を伸ばすことができれば、チャンスが訪れたときにそれを生かすことができるのです。簡単に倒れることはないのです。寒い冬を乗り越えたものこそが、春に大きな花を咲かせます。今しかできないことに全力を尽くし、今を最高に生きることが大切です。人一倍練習していたと言われる高橋選手も、この言葉を信じて来る春に備え、今やることにしっかり向き合いながら、苦しい練習を長い時間続けてきたのでしょ。

子どもたちにとって今年度の残りの3か月は、次の学年や進学に向けた「総仕上げ」の大切な時期でもあります。子どもたちは一人一人なりたい自分を思い描き、スタートしたことと思います。思い描いた事柄はそれぞれ違うと思いますが、一人一人が根を伸ばし、皆がそれを叶え、全員が一步成長した姿で修了式・卒業式を迎えられるよう、職員が一丸となり、子どもたちの伴走者として最善を尽くします。